



ロボティクス・メカトロニクス講演会2017 (ROBOMECH2017 in Fukushima) 開催報告

開催日：2017年5月10日(水)～13日(土)

会場：ビッグパレットふくしま (福島県郡山市)

講演会URL：<http://robomech.org/2017/>

ROBOMECH2017 実行委員長 高橋 隆行 (福島大学)

ROBOMECH2017 in Fukushimaは「再生と飛躍を導くロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、2017年5月10日から13日の4日間にわたり、ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)を会場に開催されました。ポスター講演1,274件、登録参加者1,853名でした。

福島県浜通り地域の地域産業復興を目指した国家プロジェクトである「イノベーション・コースト構想」をアニメを通して支援されておられる株式会社福島ガイナックス代表取締役の浅尾芳宣氏による特別講演や、東日本大震災直後の様子や復興の道を紹介する写真パネルの展示、廃炉用遠隔操作機器(ロボット等)の開発・実証試験を行う施設である檜葉遠隔技術開発センターへのテクニカルツアー、ロボットで地域復興を目指す地元企業の展示コーナーなど、東日本大震災から6年余を経た福島の現状とこれまでの歩み、そして未来を感じていただける企画を行いました。また、休憩コーナーでは福島県菓子工業組合様のご協力をいただいて、福島県の地元銘菓の提供も行いました。

初日の10日は、RSNP、RTミドルウェア、Choreonoidに関する3件の講習会、1件の地域交流ワークショップ、そして1件の宇宙探査に関するオープンフォーラムが開催され、多くの方々のご参加をいただきました。11日、12日の2日間は、メイン行事であるポスター発表が行われ、活発な討論が行われました。11日午後には、浅尾芳宣氏による「アニメでイノベーション・コースト構想を盛り上げる！」と題した特別公演が行われ、イノベーション・コーストを舞台にしたアニメ『レスキューアカデミア』の企画など、復興を支援するユニークな取り組みをご紹介いただきました。11日夜の懇親会では、会津地域を中心とした地酒や地域の食材などを味わっていただきつつ、交流を深めていただきました。12日の午後には、福島県立郡山北工業高等学校の先生と生徒さん10名が見学にいらっしやいました。最終日の13日はあいにくの雨となりましたが、檜葉遠隔技術開発センターと日大工学部のロハスの家へのテクニカルツアーが行われました。また、ImPACTプログラム合同ワークショップ、NEDO特別講座、廃炉創造ロボコン出場ロボットのデモも行われました。

ご協力をいただきました全てみなさまに、深く御礼を申し上げます。



ROBOMECH 2017会場の様子

部門賞・部門一般表彰報告

去る2017年5月11日(木)に、郡山市で開催されましたロボティクス・メカトロニクス講演会2017にて、前年度の功績・業績を讃えまして各賞の表彰式が行われました。

各賞の内容と受賞者を以下にご紹介します。

1. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門では、ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の3部門賞を設けております。

(1) 部門功績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で、研究、教育、学会活動の面で多大な影響を及ぼし、国際的評価が高く、かつ有力な著書、論文などを著している個人または団体（法主体）に贈る。

(2) 部門学術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある学術業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

(3) 部門技術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門賞候補者の中から日本機械学会部門賞通則第5項に基づく人数以内を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

<部門賞候補者の推薦方法及び時期>

部門賞の受賞候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門賞募集は公募によるものとし、推薦または本人または団体（法主体）よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示致しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっています。

部門賞

部門功績賞	木口 量夫（九州大学）
部門学術業績賞	大道 武生（名城大学）
	野波 健蔵（株式会社自律制御システム研究所）
部門技術業績賞	株式会社ワコーテック

2. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の4つの一般表彰を設けています。

(1) 部門貢献表彰

部門への著しい貢献が認められる個人、または団体に対して行う。

(2) ROBOMECH表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門主催講演会・シンポジウムなどにおいて、研究内容に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(3) ベストプレゼンテーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、プレゼンテーション面に対して高い評価を得た個人に対して行う。

(4) 部門欧文誌表彰

ROBOMECH Journalに掲載された優秀な論文の著者全員に対して行う。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門表彰候補者の中から適格者を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

<表彰候補者の推薦方法及び時期>

部門一般表彰の表彰候補者は原則として日本機械学会会員とします。ベストプレゼンテーション表彰は当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会の実行委員会が候補者を選考し、開催日から5ヶ月以内に表彰委員会に推薦します。ROBOMECH表彰、及び部門貢献表彰候補者は公募によるものとし、推薦または本人よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっています。

なお、ROBOMECH表彰で対象とする講演会・シンポジウムは前年度の10月1日以降、当該年度の9月30日までに開催されたものとなっています。

部門貢献表彰

主な功績・業績	受賞者
ROBOMECH2016実行委員長	小俣 透 (東京工業大学)
LIFE2016大会長	田中 真美 (東北大学)
LIFE2016実行委員長	平田 泰久 (東北大学)

ROBOMECH表彰

講演題目	受賞者
受動バルブを用いたスラグ液滴の自動格納マイクロ流体デバイス (ROBOMECH2016)	石田 忠 (東京工業大学), David Mclaughlin (東京工業大学), 小俣 透 (東京工業大学)
狭隘路におけるクローラロボットの走行制御 (ROBOMECH2016)	小島 匠太郎 (東北大学), 大野 和則 (東北大学), 鈴木 高宏 (東北大学), 田所 諭 (東北大学)
多自由度鉗子を搭載した深部脳外科小型手術支援システムの開発 (ROBOMECH2016)	忽滑谷 浩史 (東京大学), 中澤 敦士 (東京大学), 南里 耕大 (東京大学), 田中 真一 (東京大学), 黒瀬 優介 (東京大学), 原田 香奈子 (東京大学), 杉田 直彦 (東京大学), 庄野 直之 (東京大学), 中富 浩文 (東京大学), 楚良 繁雄 (東京警察病院), 森田 明夫 (日本医科大学), 渡辺 英寿 (厚生労働省), 齊藤 延人 (東京大学), 光石 衛 (東京大学)
昆虫搭載型バイオ燃料電池を用いた自律分散型環境モニタリングロボットの開発 (ROBOMECH2016)	庄司 観 (大阪大学), 秋山 佳丈 (信州大学), 鈴木 将登 (東京農工大学), 中村 暢文 (東京農工大学), 大野 弘幸 (東京農工大学), 森島 圭祐 (大阪大学)
がん細胞特異的結合ペプチドスクリーニングのためのマイクロ流体デバイス (ROBOMECH2016)	神永 真帆 (東京工業大学), 石田 忠 (東京工業大学), 門之園 哲哉 (東京工業大学), 近藤 科江 (東京工業大学), 小俣 透 (東京工業大学)

ベストプレゼンテーション表彰

講演題目	受賞者
ホイールベース可変機構を搭載した軟弱地盤移動用ローバに関する研究	飯塚 浩二郎 (信州大学)
脊椎強度評価試験機により得られた医学的成果と今後の展開	増田 峰知 (三重県工業研究所)
複数のGNSSアンテナ搭載UAVを用いた高精度位置姿勢推定と精密三次元計測	鈴木 太郎 (早稲田大学)
放物運動拘束を利用した単眼視ビジュアルオドメトリに関する検討	大津 恭平 (東京大学)
単一細胞の大変形圧縮モデルを用いたオンチップ弾性特性計測	杉浦 広峻 (名古屋大学)

部門欧文誌表彰

論文題目	受賞者
Assessment of tracked vehicle's ability to traverse stairs (ROBOMECH Journal, Vol.3, No.20, 2016)	Daisuke Endo (Tohoku University), Keiji Nagatani (Tohoku University)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2018 (ROBOMECH2018 in Kitakyushu) 開催案内

開催日：2018年6月2日(土)～5日(火)

会場：北九州国際コンベンションゾーン (福岡県北九州市小倉北区浅野地区)

講演会URL：<http://robomech.org/2018/>

ROBOMECH2018 実行委員長 柴田 智広 (九州工業大学)

当部門主催、ロボティクス・メカトロニクス講演会2018 in Kitakyushuは、2018年6月2日(土)～5日(火)に北九州国際コンベンションゾーンにて開催します。開催場所はJR小倉駅直結、徒歩5分のところで、新幹線、空路(福岡空港、北九州空港)でも大変便利です。

6月2日にはXプライズに関する講演や中高生向け企画などを、また6月3日はワークショップ・チュートリアル、産学や地域連携の企画の他、ロボティクス・メカトロニクス講演会の30周年記念特別行事の開催を予定しています。そして6月4日と5日には、ポスター講演と企業展示を西日本総合展示場新館(約5,300平米)で行う予定です。

開催地の北九州市は、政令指定都市で、いち早く公害を経験し、高度な環境・エネルギー関連技術を発達させました。また、いち早く高齢化を経験し(高齢化率は政令指定都市の中で最も高い)、ロボット産業が主要産業の一つであることから、早くから医療や介護用のロボットの開発や実証に力をいれてきました。2016年1月に国家戦略特区に指定され、介護ロボット等を活用した先進的介護の実証を推進しています。北九州市は「住みたい地方ランキング」で1位に選ばれており、今年新たに、講演会会場の横にサッカーやラグビー向けのスタジアムもオープンしてますます活気づいています。また、小倉駅から小倉城には徒歩で行くことも可能です(約15分)。講演会の30周年を盛大に祝う意味でも、ぜひ多数の皆様のご発表・ご参加をお待ちしております。

今後の行事についてのご案内

●ドローンの仕組みと制御(体験操縦会つき)

日時：2017年10月7日(土)

場所：大同大学 B棟B0209講義室(名古屋市南区)

URL：<https://www.jsme.or.jp/event/2017-26178/>

●電子工作教室－電子オルゴールを作ってみようー

日時：2017年10月15日(日)

場所：福井大学文京キャンパス(福井県福井市)

URL：<https://www.jsme.or.jp/event/2017-26174/>

●第27回インテリジェント・システム・シンポジウム(FAN2017)

日時：2017年11月7日(火)～8日(水)

場所：岡山大学 津島キャンパス(岡山県岡山市)

URL：<http://www.usmv.sys.okayama-u.ac.jp/fan2017/>

●親子ロボット工作教室「とことこロボットをつくろう！」

日時：2017年11月11日(土)～12日(日)

場所：静岡大学工学部 浜松キャンパス (静岡県浜松市)

●スカベンジャーロボット体験

日時：2017年11月12日(日)

場所：横浜市立浜小学校 (神奈川県横浜市)

●九州地区競技会「フューチャードリーム！ロボメカデザインコンペ2017」

日時：2017年12月9日(土)

場所：福岡市科学館 (福岡市中央区)

URL：<https://www.jsme.or.jp/event/2017-25760/>

●四国地区第7回小学生を対象としたロボット工作教室
「ロボットについて知ろう！&作って動かしてみよう！」

日時：2017年12月17日, 2018年1月14日

場所：香川高等専門学校 (香川県高松市)

●pico-EV・エコチャレンジ2018

日時：2018年3月4日(日)

場所：西日本工業大学体育館 (福岡県京都郡)

URL：<http://picoev.main.jp/>

●第23回ロボティクスシンポジア

日時：2018年3月14日(水)～15日(木)

場所：松風閣 (静岡県焼津市)

URL：<http://www.robotics-symposia.org/23rd/>

●ロボティクス・メカトロニクス講演会2018

日時：2018年6月2日(土)～5日(火)

場所：北九州国際コンベンションゾーン (福岡県北九州市)

URL：<http://robomech.org/2018/>

●ロボティクス・メカトロニクス講演会2019

日時：2019年6月5日(水)～8日(土)

場所：広島国際会議場 (広島県広島市)

第95期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 小俣透 (東工大)

副部門長 村上弘記 (IHI)

幹事 菅野貴皓 (医科歯科大)

編集：広報委員会

委員長 小川原光一 (和歌山大) 副委員長 辻田哲平 (防衛大)

委員 山口大介 (埼玉大) 幹事 程島竜一 (埼玉大)

ロボメカ部門関係アドレス

■部門ホームページURL

<http://www.jsme.or.jp/rmd/>

■部門広報委員会メールアドレス

rmd@jsme.or.jp